

診査診断学実習

責任者名：篠崎 貴弘

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

篠崎 貴弘(口腔診断学 専任講師)

今村 佳樹(口腔診断学 教授)

本田 和也(歯科放射線学 教授)

大井 良之(歯科麻酔学 教授)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

新井 嘉則(歯科放射線学 教授)

岡 俊一(歯科麻酔学 准教授)

岡田 明子(口腔診断学 准教授)

野間 昇(口腔診断学 准教授)

松本 邦史(歯科放射線学 准教授)

江島 堅一郎(歯科放射線学 専任講師)

澤田 久仁彦(歯科放射線学 専任講師)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

出澤 幸(歯科放射線学 助教)

雨宮 俊彦(歯科放射線学 助教)

武井 浩樹(小児歯科学 助教)

関野 麗子(歯科麻酔学 助教)

北山 稔恭(歯科麻酔学 助教)

見崎 徹(歯科麻酔学 兼任講師)

小柳 裕子(歯科麻酔学 助教)

里見 ひとみ(歯科麻酔学 助教)

石山 未紗(小児歯科学 助教)

小川 洋二郎(歯科麻酔学 兼任講師)

廣瀬 倫也(歯科麻酔学・薬理学 兼任講師)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

顎口腔領域と全身の診査法の実際を修得し、得られた所見から診断するために、診査診断の過程を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

医療面接、口腔内外診査を通して、全身ならびに口腔顔面の問題点を把握し、評価、診断を説明できる。また、その問題点から対応を導き、正しく治療を施す手法を示すことができる。小児歯科学実習では、小児の特殊性を理解し、放射線学実習では、エックス線を用いた検査手法を述べることができ、読影することができる。歯科麻酔学では、バイタルサインの評価、血糖値測定から全身評価を学び、救急蘇生法の実習でその対応を示すことができる。口腔診断学実習では、初診時患者の口腔内外の問題点の評価、診断を導き実施できる。

◆評価方法

小児歯科学実習では、実習での小テストと成果物により評価する（小テスト 20 点、トレース 40 点、歯列周長分析 40 点）。歯科放射線学実習では、口頭試問・総合試験を中心に実習態度や口頭試問等を参考に評価する（総合試験 50 点、実習態度 20 点、口頭試問 30 点）。医療面接、口腔内外診査では、実習試験を定期試験として評価する（実習試験 100 点）。また、歯科麻酔学実技実習では、歯科麻酔実技試験を定期試験として採用する（実技試験 100 点）。総合評価に当たっては、各教科の評定を等分にする。出席確認は、各実習毎にチェックする。原則として欠席は認めない。欠席は総合評価から減点対象となるので、欠席しないこと。口頭試問、総合試験もしくは実習試験終了後、未到達点に関して各分野毎にチューターによりフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
今村 佳樹	水曜日 17:00~18:00 口腔診断学講座教授室	imamura.yoshiki@nihon-u.ac.jp	要予約
本田 和也	月曜日 17:00~18:00 歯科放射線学講座教授室	honda.kazuya@nihon-u.ac.jp	要予約
大井 良之	月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座教授室	oi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	要予約
白川 哲夫	月曜日 17:00~18:00 小児歯科学講座教授室	shirakawa.tetsuo@nihon-u.ac.jp	要予約
新井 嘉則	月曜日 17:00~18:00 歯科放射線学講座研究室	arai.yoshinori@nihon-u.ac.jp	要予約
岡 俊一	火曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座研究室	oka.shunnichi@nihon-u.ac.jp	要予約
岡田 明子	火曜日 16:30~17:30 口腔診断学講座研究室	okada.akiko1@nihon-u.ac.jp	要予約
野間 昇	火曜日 16:30~17:30 口腔診断学講座研究室	noma,noboru@nihon-u.ac.jp	要予約
松本 邦史	月曜日 17:00~18:00 歯科放射線学研究室	matsumoto.kunihito@nihon-u.ac.jp	要予約
上原 任	月曜日 17:00~18:00 3号館3階医療人間科学研究室	uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp	なるべくメールで連絡すること

◆授業の方法

小児歯科実習では、エックス線像と模型による実習を行う。放射線科実習では、医療面接、口内法およびパノラマX撮影、フィルムマウント、口外法および特殊撮影の読影を中心とした実習を行う。歯科麻酔学実習では、バイタルサイン測定、実技による実習を行う。診査診断学実習では、医療面接、口腔内外診査をロールプレイにより行い、実際に標準患者にて医療面接実習試験を行う。

【実務経験】篠崎 貴弘：日本大学歯学部附属歯科病院口腔診断科での経験等の話も交えながら、臨床現場において本教科で学ぶコミュニケーションの理論や技法がいかにかに活かされるかについて学ぶ場を提供したい。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント	口腔診断学実習		配布	
教科書 1	小児歯科学基礎・臨床実習 第2版	前田隆秀 他編	医歯薬出版	2014
教科書 2	歯科医のための救急処置マニュアル	見崎 徹、伊東 隆利編	医歯薬出版	2015
実習書 1	歯科麻酔学実習書	歯科麻酔学教室編	歯科麻酔学教室編	2020
実習書 2	歯科放射線学実習書	歯科放射線学教室編	歯科放射線学教室編	2020
実習書 3	歯科放射線学	岡野友宏 他	医歯薬出版	2016

◆DP・CP

[DP3] コンピテンス：論理的・批判的思考力 コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4] コンピテンス：問題発見・解決力 コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP5] コンピテンス：挑戦力 コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[CP1] 歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP3] 幅広い教養と歯科医に必要の体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4] 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

[CP8] 各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

教科書、参考書、実習書で、実技内容を予習しておくこと。口腔診断の予習に関しては、前期の医療面接の講義で学んだ内容を実習で学ぶので、前期医療面接の講義の復習が、本実習の予習に当たる。医療面接のプロセスとコンテンツを十分に復習しておくこと。特に臨床推論（症状と所見から考えられる疾患名を推測する）については、提示症例について詳しく復習しておくこと。

◆準備学習時間

少なくとも各2時間以上をかけて教科書、参考書、該当講義の配布資料、実習書等で、実技内容を予習しておくこと。

◆全学年を通しての関連教科

- 第3学年後期 人体解剖学実習
- 第4学年前期 医療面接
- 第4学年後期 口腔診断学・有病者歯科学
- 第3学年前期 歯科放射線学総論
- 第4学年前期 歯科放射線学各論
- 第4学年前期 歯科麻酔学各論

◆予定表

- ・第1回と第2回は全員が小児歯科学の実習を行う。第3回は、口腔診断学、歯科放射線学、歯科麻酔学の実習講義を行う。
- ・第4回以降は1学年を出席番号奇数A(1-4)班と出席偶数B(1-4)班とする。各班はA1(4001-4027)、A2(4029-4059)、A3(4061-4089)、A4(4091-4117)、B1(4002-4028)、B2(4030-4060)、B3(4062-4090)、B4(4092-4118)とする。
- ・口腔診断学、歯科麻酔学はA1班(前半の前半)、A2班(前半の後半)、B1班(後半の前半)、B2班(後半の後半)の4班に分けて実習を行う。
- ・A班が歯科放射線学の実習(計6回)を行っている間にB班は口腔診断学実習(計3回)と歯科麻酔学実習(計3回)を交代で行う。後半では、A班とB班が入れ替わる。
- ・歯科放射線学実習では、さらにA班、B班をそれぞれ4つに分割し、A①、A②、A③、A④、B①、B②、B③、B④の8班に分け実習を行う。
- ・以上、実習を並行して行うので、各自、自分がいつ、どの実習を行うかを事前に理解して実習の予習を行うこと。

注意事項：

1. 各班で実習内容が異なるので、各自所定の日、教科書および実習書を持参の上、指定の実習場所へ集合のこと。
2. 頭髪、手指を清潔にし、バッジ・白衣・院内帽を着用のこと。
3. 各実習終了後、口頭試問・レポート等を課す。
4. 欠番、欠席等の理由により、学生によっては実習項目が変わることがある。
5. エックス線撮影実習のパノラマ撮影・口内法撮影は歯科放射線科病院外来で、医療面接は大講堂で、フルマウスのマウントは第5実習室、パノラマ・CT・MRI等の読像実習は第3講堂で行う。班分けやスケジュール、また変更等がある場合については随時別途アナウンスをするので十分に注意すること。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	A・B	9.7	7	1. 小児歯科学(遠	・発育期の口腔領域のエックス線画	高森 一乗	F-3-6) 矯正歯

				隔講義) 1) 乳歯列と混合歯列のエックス線画像診断 (教1) pp.13-18	像の読影および分析を行い、萌出している歯と顎骨内の永久歯胚との位置関係が説明できる。		科・小児歯科治療
2-3	A・B	9.8	5 ～ 8	1. 小児歯科学実習 1) 乳歯列と混合歯列のエックス線画像診断 (教1) pp.13-18	・発育期の口腔領域のエックス線画像の読影および分析を行い、萌出している歯と顎骨内の永久歯胚との位置関係が説明できる。 ・顎顔面および咬合発育についての基礎知識を、診査・診断へ応用することができる。	白川 哲夫 高森 一乗 武井 浩樹 石山 未紗	F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
4	A・B	9.14	7	1. 小児歯科学(遠隔講義) 2) 歯列周長分析 (教1) pp.23-26	・歯列・咬合の成長予測における口腔模型の分析の重要性を説明できる。 ・歯列長径や幅径の計測法,第一大臼歯を基準とする咬合評価法を学ぶ。 ・混合歯列期の模型を用いた,歯列・咬合の成長予測の方法を説明できる。	高森 一乗	F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
5-6	A・B	9.15	5 ～ 8	1. 小児歯科学実習 2) 歯列周長分析 (教1) pp.23-26	・歯列・咬合の成長予測における口腔模型の分析の重要性を説明できる。 ・歯列長径や幅径の計測法,第一大臼歯を基準とする咬合評価法を学ぶ。 ・混合歯列期の模型を用いた,歯列・咬合の成長予測の方法を実施できる。	高森 一乗	F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療
7	B・A	9.28	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	・画像診断に必要な撮影法を説明できる。 ・画像診断に必要な頭・頸部の解剖と読影を説明できる。 ・画像診断に必要な放射線物理や放射線防護を学ぶ。 ・医療面接のプロセスとコンテンツ		

					<p>を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔外診査における診査項目を理解し、手技の要点を説明できる。 ・口腔内診査における診査項目を理解し、手技の要点を説明することができる。 ・バイタルサインの測定法を理解し、手技の要点を説明できる。 ・成人・小児・乳児の一次救命処置について、理論と手技の要点を説明できる。 		
8-9	B・A	9.29	5 ～ 8	<p>2. 実習講義オリエンテーション</p> <p>1) 歯科放射線学講義</p> <p>2) 診査診断学講義</p> <p>3) 歯科麻酔学講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断に必要な撮影法を説明できる。 ・画像診断に必要な頭・頸部の解剖と読影を説明できる。 ・画像診断に必要な放射線物理や放射線防護を学ぶ。 ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査における診査項目を理解し、手技の要点を説明できる。 ・口腔内診査における診査項目を理解し、手技の要点を説明することができる。 ・バイタルサインの測定法を理解し、手技の要点を説明できる。 ・成人・小児・乳児の一次救命処置について、理論と手技の要点を説明できる。 	<p>江島 堅一郎</p> <p>今村 佳樹</p> <p>里見 ひとみ</p>	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
10	A1-2・B1-2:放射線、A3・B3:歯科麻	10.5	7	<p>3. 歯科放射線学実習(遠隔講義)</p> <p>4. 口腔診断学実習(遠隔講義)</p> <p>5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パノラマエックス線写真のトレースを行い、その正常解剖について説明することができる。 ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技、対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験 	<p>放射線</p> <p>歯科麻酔</p> <p>口腔診断</p>	

	酔、 A4・ B4： 口腔 診断				<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接，口腔外診査を通して診断を導くことができる ・バイタルサイン（意識，呼吸，脈拍，血圧）の診方を学び，実際の測定法を示し，その臨床的意義を説明することができる。 ・笑気吸入鎮静法について笑気の性質，本法の適応症，笑気吸入鎮静器の構造および操作法，各種ポンベの特徴，至適鎮静度の徴候などを説明することができる。 		
11 - 12	B1- 2・ A1-2	10.6	5 ～ 8	<p>A①②、B①②</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パノラマエックス線写真のトレースを行い，その正常解剖について説明することができる。 	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
11 - 12	B4・ A4	10.6	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>1) 医療面接，口腔外診査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技，対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接，口腔外診査を通して診断を導くことができる。 	<p>今村 佳樹</p> <p>岡田 明子</p> <p>野間 昇</p>	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
11 - 12	B3・ A3	10.6	5 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学</p> <p>1) バイタルサイン</p> <p>2) 笑気吸入鎮静法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサイン（意識，呼吸，脈拍，血圧）の診方を学び，実際の測定法を示し，その臨床的意義を説明することができる。 ・笑気吸入鎮静法について笑気の性質，本法の適応症，笑気吸入鎮静器の構造および操作法，各種ポンベの特徴，至適鎮静度の徴候などを説明することができる。 	<p>大井 良之</p> <p>岡 俊一</p> <p>小柳 裕子</p> <p>関野 麗子</p> <p>北山 稔恭</p> <p>里見 ひとみ</p> <p>小川 洋二郎</p> <p>廣瀬 倫也</p> <p>見崎 徹</p>	<p>E-1-4)-(2) 精神鎮静法</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>

13	A1-2・B1-2：放射線、A3・B3：歯科麻酔、A4・B4：口腔診断	10.12	7	<p>3. 歯科放射線学実習(遠隔講義)</p> <p>4. 口腔診断学実習(遠隔講義)</p> <p>5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口外法撮影の種類とその正常解剖について説明することができる。 ・救急蘇生法の理論を学び、蘇生人形を使って成人一次救命処置（気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用）を実施できる。 ・小児と乳児の一次救命処置を、デモを通して学び、成人との違いを説明できる。 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	
14 - 15	B1-2・A1-2	10.13	5 ～ 8	<p>A①②、B①②</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口外法撮影の種類とその正常解剖について説明することができる。 ・前回の実習で学修した内容を踏まえ、以下の内容を実施できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技、対応を修得できる。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 ・医療面接、口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。 	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
14 - 15	B4・A4	10.13	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>2) 医療面接、口腔外診査、口腔内診査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の実習で学修した内容を踏まえ、以下の内容を実施できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技、対応を修得できる。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策

					・医療面接，口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。		
14 - 15	B3・ A3	10.13	5 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 救急蘇生法	・救急蘇生法の理論を学び，蘇生人形を使って成人一次救命処置（気道確保，胸骨圧迫，人工呼吸，AEDの使用）を実施できる。 ・小児と乳児の一次救命処置を，デモを通して学び，成人との違いを説明できる。	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置
16	A1- 2・ B1- 2： 放射線、 A3・ B3： 歯科麻酔、 A4・ B4： 口腔診断	10.19	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接，口腔内外診査を行い，正しい診断を導くことができる。 ・医療面接，口腔内外診査の評価を通し，総合的に医療面接，口腔内外診査を実施できる。 ・実技，評価，移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし，自己学修（グループ学修）により再学修する。	放射線 歯科麻酔 口腔診断	
17 - 18	B1- 2・ A1-2	10.20	5 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必

				<p>2) 口内法撮影と解剖</p> <p>3) パノラマエックス線撮影と解剖</p> <p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 		<p>要な診察と検査</p>
17 - 18	B4・ A4	10.20	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>3) 実習試験</p> <p>医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者を用いた医療面接, 口腔内外診査を行い, 正しい診断を導くことができる。 ・医療面接, 口腔内外診査の評価を通し, 総合的に医療面接, 口腔内外診査を実施できる。 	口腔診断	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
17 - 18	B3・ A3	10.20	5 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学実習</p> <p>4) 『実技評価』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサイン ・救急蘇生法 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技, 評価, 移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし, 自己学修 (グループ学修) により再学修する。 	歯科麻酔	<p>E-1-6) 救急処置</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
19	A1- 2・ B1- 2: 放射線、 A3・ B3: 口腔診断、 A4・	10.26	7	<p>3. 歯科放射線学実習(遠隔講義)</p> <p>4. 口腔診断学実習(遠隔講義)</p> <p>5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)</p>	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

	B4 : 歯科 麻酔				<p>解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査主義，対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接，口腔外診査を通して診断を導くことができる。 ・バイタルサイン（意識，呼吸，脈拍，血圧）の診方を学び，実際の測定法を示し，その臨床的意義を説明することができる。 ・笑気吸入鎮静法について笑気の性質，本法の適応症，笑気吸入鎮静器の構造および操作法，各種ボンベの特徴，至適鎮静度の徴候などを説明することができる。 		
20 - 21	B1- 2・ A1-2	10.27	5 ～ 8	<p>A①②、B①②</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p> <p>2) 口内法撮影と解剖</p> <p>3) パノラマエックス線撮影と解剖</p> <p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し，防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
20 - 21	B3・ A3	10.27	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>1) 医療面接，口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容につ 	口腔診断	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状</p>

				腔外診査	<p>いて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔外診査に必要な診査主義，対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接，口腔外診査を通して診断を導くことができる。 		態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
20 - 21	B4・ A4	10.27	5 ～ 8	5. 歯科麻酔学 1) バイタルサイン 2) 笑気吸入鎮静法	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサイン（意識，呼吸，脈拍，血圧）の診方を学び，実際の測定法を示し，その臨床的意義を説明することができる。 ・笑気吸入鎮静法について笑気の性質，本法の適応症，笑気吸入鎮静器の構造および操作法，各種ポンペの特徴，至適鎮静度の徴候などを説明することができる。 	歯科麻酔	E-1-4)-(2) 精神鎮静法 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
22	A1- 2・ B1- 2： 放射線、 A3・ B3： 口腔診断、 A4・ B4： 歯科麻酔	11.2	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し，防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接，口腔内外診査を行い，正しい診断を導くことができる。 ・医療面接，口腔内外診査の評価を通し，総合的に医療面接，口腔内外診査を実施できる。 ・実技，評価，移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバック 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

					し、自己学修（グループ学修）により再学修する。		
25	A1-2・B1-2：放射線、A3・B3：口腔診断、A4・B4：歯科麻酔	11.9	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。	放射線 歯科麻酔 口腔診断	
23 - 24	B1-2・A1-2	11.10	5 ～ 8	A①②、B①② 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査

				6) 放射線防護と管理	・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。		
23 - 24	B3・ A3	11.10	5 ～ 8	4. 口腔診断学実習 2) 医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査	・ 前回の実習で学修した内容を踏まえ, 以下の内容を学修できる。 ・ 口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・ 口腔内診査に必要な診査手技, 対応を修得できる。 ・ 清潔操作が理解できる。 ・ 診査結果が正確に記録できる。 ・ 模擬患者による診査・診断を体験できる。 ・ 医療面接, 口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。	岡田 明子	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策
23 - 24	B4・ A4	11.10	5 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 救急蘇生法	・ 救急蘇生法の理論を学び, 蘇生人形を使って成人一次救命処置(気道確保, 胸骨圧迫, 人工呼吸, AEDの使用)を実施できる。 ・ 小児と乳児の一次救命処置を, デモを通して学び, 成人との違いを説明できる。	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置
28	A1・ B1: 歯科麻酔、 A2・ B2: 口腔診断、 A3- 4・ B3- 4: 放射線	11.16	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	A①②、B①② ・ 口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・ パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・ 口内法画像と解剖を説明できる。 ・ エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・ 放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・ CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・ 模擬患者を用いた医療面接, 口腔内外診査を行い, 正しい診断を導くことができる。 ・ 医療面接, 口腔内外診査の評価を	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

					<p>通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。 		
25 - 26	B1- 2・ A1-2	11.17	5 ～ 8	<p>A①②、B①②</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p> <p>2) 口内法撮影と解剖</p> <p>3) パノラマエックス線撮影と解剖</p> <p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
25 - 26	B3・ A3	11.17	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>3) 実習試験</p> <p>医療面接、口腔外診査、口腔内診査の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 	岡田 明子	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療</p>
25 - 26	B4・ A4	11.17	5 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学実習</p> <p>4) 『実技評価』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサイン ・救急蘇生法 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。 	歯科麻酔	<p>E-1-6) 救急処置</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
29	B3-	11.24	5	A③④、B③④	<ul style="list-style-type: none"> ・パノラマエックス線写真のトレー 	放射線	F-2-2) 全身状

- 30	4・ A3-4		～ 8	3. 歯科放射線学 実習 1) 放射線読影実習	スを行い、その正常解剖について説明することができる。		態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
29 - 30	B2・ A2	11.24	5 ～ 8	4. 口腔診断学実習 1) 医療面接、口腔外診査	・医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔外診査に必要な診査手技、対応を実施できる。 ・相互実習による診査・診断を体験できる。 ・医療面接、口腔外診査を通して診断を導くことができる。	篠崎 貴弘 今村 佳樹 岡田 明子	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療
29 - 30	B1・ A1	11.24	5 ～ 8	5. 歯科麻酔学 1) バイタルサイン 2) 笑気吸入鎮静法	・バイタルサイン（意識、呼吸、脈拍、血圧）の診方を学び、実際の測定法を示し、その臨床的意義を説明することができる。 ・笑気吸入鎮静法について笑気の性質、本法の適応症、笑気吸入鎮静器の構造および操作法、各種ポンペの特徴、至適鎮静度の徴候などを説明することができる。	歯科麻酔	E-1-4)-(2) 精神鎮静法 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
31	A1・ B1： 歯科麻酔、 A2・ B2： 口腔診断、 A3- 4・ B3- 4： 放射線	11.30	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接、口腔	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

					<p>内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。 		
32 - 33	B3- 4・ A3-4	12.1	5 ～ 8	<p>A③④、B③④</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口外法撮影の種類とその正常解剖について説明することができる。 	放射線	F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
32 - 33	B2・ A2	12.1	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>2) 医療面接、口腔外診査、口腔内診査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策
32 - 33	B1・ A1	12.1	5 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学実習</p> <p>3) 救急蘇生法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法の理論を学び、蘇生人形を使って成人一次救命処置（気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用）を実施できる。 ・小児と乳児の一次救命処置を、デモを通して学び、成人との違いを説明できる。 	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置
34	A1・ B1： 歯科麻酔、 A2・ B2： 口腔診断、 A3-	12.7	7	<p>3. 歯科放射線学実習(遠隔講義)</p> <p>4. 口腔診断学実習(遠隔講義)</p> <p>5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)</p>	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

	4・B3-4:放射線				<p>し、防御の実際および関連法規を理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。 		
35-36	B3-4・A3-4	12.8	5～8	<p>A③④、B③④</p> <p>3. 歯科放射線学実習</p> <p>1) 放射線読影実習</p> <p>2) 口内法撮影と解剖</p> <p>3) パノラマエックス線撮影と解剖</p> <p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	<p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>
35-36	B2・A2	12.8	5～8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>3) 実習試験</p> <p>医療面接、口腔外診査、口腔内診査の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施することができる。 	<p>篠崎 貴弘</p> <p>今村 佳樹</p> <p>岡田 明子</p>	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療</p>
35	B1・	12.8	5	5. 歯科麻酔学実	<ul style="list-style-type: none"> ・実技、評価、移動の straight, one- 	歯科麻酔	E-1-6) 救急処

- 36	A1		~ 8	習 4) 『実技評価』 ・バイタルサイン ・救急蘇生法	way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。		置 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査
37	A1・ B1: 口腔 診 断、 A2・ B2: 歯科 麻 酔、 A3- 4・ B3- 4: 放射 線	12.9	7	3. 歯科放射線学 実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実 習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実 習(遠隔講義)	A①②、B①② ・口内撮影法の基本である二等分面 法・正放射線投影法・フィルムホル ダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明 できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に 説明し、撮影の承諾を得ることがで きる。 ・放射線の物質による減弱を確認 し、防御の実際および関連法規を理 解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明で きる。 ・模擬患者を用いた医療面接、口腔 内外診査を行い、正しい診断を導く ことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を 通し、総合的に医療面接、口腔内外 診査を実施できる。 ・実技、評価、移動の straight, one- way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバック し、自己学修（グループ学修）によ り再学修する。	放射線 歯科麻酔 口腔診断	
38 - 39	B3- 4・ A3-4	12.10	5 ~ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学 実習 1) 放射線読影実 習 2) 口内法撮影と 解剖 3) パノラマエッ クス線撮影と解剖	・口内撮影法の基本である二等分面 法・正放射線投影法・フィルムホル ダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明 できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に 説明し、撮影の承諾を得ることがで きる。	放射線	F-2-1) 医療面 接 F-2-2) 全身状 態の把握及び 歯科治療に必 要な診察と検 査

				<p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 		
38 - 39	B1・ A1	12.10	5 ~ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>1) 医療面接, 口腔外診査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療面接のプロセスとコンテンツを説明できる。 口腔外診査に必要な診査内容について説明できる。 口腔外診査に必要な診査手技, 対応を実施できる。 相互実習による診査・診断を体験できる。 医療面接, 口腔外診査を通して診断を導くことができる。 	篠崎 貴弘 今村 佳樹 岡田 明子	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療
38 - 39	B2・ A2	12.10	5 ~ 8	<p>5. 歯科麻酔学</p> <p>1) バイタルサイン</p> <p>2) 笑気吸入鎮静法</p>	<ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン (意識, 呼吸, 脈拍, 血圧) の診方を学び, 実際の測定法を示し, その臨床的意義を説明することができる。 笑気吸入鎮静法について笑気の種類, 本法の適応症, 笑気吸入鎮静器の構造および操作法, 各種ボンベの特徴, 至適鎮静度の徴候などを説明することができる。 	歯科麻酔	E-1-4)-(2) 精神鎮静法 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療
40	A1・ B1: 口腔 診 断、 A2・ B2: 歯科 麻 酔、 A3- 4・ B3-	12.14	7	<p>3. 歯科放射線学実習(遠隔講義)</p> <p>4. 口腔診断学実習(遠隔講義)</p> <p>5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)</p>	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> 口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 パノラマエックス線撮影法を説明できる。 口内法画像と解剖を説明できる。 エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	

	4: 放射線				<ul style="list-style-type: none"> ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接，口腔内外診査を行い，正しい診断を導くことができる。 ・医療面接，口腔内外診査の評価を通し，総合的に医療面接，口腔内外診査を実施できる。 ・実技，評価，移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし，自己学修（グループ学修）により再学修する。 		
41 - 42	B3- 4・ A3-4	12.15	5 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖 3) パノラマエックス線撮影と解剖 4) フルマウスのマウントと診断 5) 放射線医療面接実習 6) 放射線防護と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し，防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査
41 - 42	B1・ A1	12.15	5 ～ 8	4. 口腔診断学実習 2) 医療面接，口腔外診査，口腔内診査	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の実習で学修した内容を踏まえ，以下の内容を学修できる。 ・口腔内診査に必要な診査内容について説明できる。 ・口腔内診査に必要な診査手技，対応を修得する。 ・清潔操作が理解できる。 ・診査結果が正確に記録できる。 ・模擬患者による診査・診断を体験できる。 ・医療面接，口腔外・内診査を通して診断を導くことができる。 	口腔診断	F-1-1) 口腔内の診察・記録 F-1-2) 医療安全・感染対策

41 - 42	B2・ A2	12.15	5 ～ 8	5. 歯科麻酔学実習 3) 救急蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法の理論を学び、蘇生人形を使って成人一次救命処置（気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用）を実施できる。 ・小児と乳児の一次救命処置を、デモを通して学び、成人との違いを説明できる。 	歯科麻酔	E-1-6) 救急処置
43	A1・ B1： 口腔 診 断、 A2・ B2： 歯科 麻 酔、 A3- 4・ B3- 4： 放射 線	12.21	7	3. 歯科放射線学実習(遠隔講義) 4. 口腔診断学実習(遠隔講義) 5. 歯科麻酔学実習(遠隔講義)	<p>A①②、B①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に説明し、撮影の承諾を得ることができる。 ・放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 ・CTとMRIの原理と解剖を説明できる。 ・模擬患者を用いた医療面接、口腔内外診査を行い、正しい診断を導くことができる。 ・医療面接、口腔内外診査の評価を通し、総合的に医療面接、口腔内外診査を実施できる。 ・実技、評価、移動の straight, one-way 方式評価を行う。 ・評価結果を学生にフィードバックし、自己学修（グループ学修）により再学修する。 	放射線 歯科麻酔 口腔診断	
44 - 45	B3- 4・ A3-4	12.22	5 ～ 8	A③④、B③④ 3. 歯科放射線学実習 1) 放射線読影実習 2) 口内法撮影と解剖	<ul style="list-style-type: none"> ・口内撮影法の基本である二等分面法・正放射線投影法・フィルムホルダー法を実施できる。 ・パノラマエックス線撮影法を説明できる。 ・口内法画像と解剖を説明できる。 ・エックス線検査の必要性を患者に 	放射線	F-2-1) 医療面接 F-2-2) 全身状態の把握及び 歯科治療に必要な診察と検査

				<p>3) パノラマエックス線撮影と解剖</p> <p>4) フルマウスのマウントと診断</p> <p>5) 放射線医療面接実習</p> <p>6) 放射線防護と管理</p>	<p>説明し、撮影の承諾を得ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線の物質による減弱を確認し、防御の実際および関連法規を理解できる。 CT と MRI の原理と解剖を説明できる。 		
44 - 45	B1・ A1	12.22	5 ～ 8	<p>4. 口腔診断学実習</p> <p>3) 実習試験</p> <p>医療面接, 口腔外診査, 口腔内診査の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 模擬患者を用いた医療面接, 口腔内外診査を行い, 正しい診断を導くことができる。 医療面接, 口腔内外診査の評価を通し, 総合的に医療面接, 口腔内外診査を実施できる。 	口腔診断	<p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療</p>
44 - 45	B2・ A2	12.22	5 ～ 8	<p>5. 歯科麻酔学実習</p> <p>4) 『実技評価』</p> <ul style="list-style-type: none"> バイタルサイン 救急蘇生法 	<ul style="list-style-type: none"> 実技, 評価, 移動の straight, one-way 方式評価を行う。 評価結果を学生にフィードバックし, 自己学修 (グループ学修) により再学修する。 	歯科麻酔	<p>E-1-6) 救急処置</p> <p>F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
放射線	1167	澤田 久仁彦
	2849	出澤 幸
	2937	雨宮 俊彦
	920	本田 和也
	1121	江島 堅一郎
	1753	新井 嘉則
	3280	松本 邦史
小児歯科	1537	白川 哲夫
	2007	高森 一乗
	2292	武井 浩樹
歯科麻酔	1085	岡 俊一
	1317	大井 良之
	2193	小柳 裕子
	2208	関野 麗子
	2666	里見 ひとみ
	2698	北山 稔恭
	1000003	小川 洋二郎
1000071	廣瀬 倫也	
3000170	見崎 徹	
口腔診断	1255	篠崎 貴弘
	1291	上原 任
	1308	今村 佳樹
	1321	野間 昇
	1376	岡田 明子

